

第112回 大村市在宅ケアセミナー 質問の回答

日 時 * 平成23年3月17日(木)18:45~20:00

場 所 * 大村市民会館 3階 大会議室

講演 『摂食・嚥下障害の基礎知識と高齢者肺炎』

講師 市立大村市民病院 言語聴覚士 藤田俊一郎 先生

《質問》 麻痺のある患者様に食事をさせるには？

《回答》 麻痺によって嚥下に関わるどの部位の運動・感覚が低下しているのか？現在経口摂取をしているのか？食べているのであれば食形態は？…等、様々な要因を考慮する必要があります。まずは何が原因で摂食嚥下障害が出現しているのかを評価し、それを改善させるにはどのようなリハビリが必要なのか、代償姿勢や嚥下法の指導の効果があるのか…という順に考えていくと良いかと思います。

《質問》 食事前に歌を歌ったりして嚥下をしやすくしています。他に何か良い方法があれば教えてください。

《回答》 歌唱は摂食器官の運動や発声訓練として、食事前に行うと良い効果が見込めると思います。歌唱に加えて、今回のセミナーで配布させていただいた『嚥下体操』を食前に行うことで摂食器官の準備運動となり良い効果が得られます。